



令和4年度  
10月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

## 回覧

夏の気配が多く残る9月に比べると、10月は一気に秋が深まっています。

秋と言えば、市の花として親しまれている「コスモス」が、生駒高原を埋め尽くす時期です。100万本のコスモスには本当に感動します。

市内の小・中学生は、市独自の教科「こすもす科」で、市の自慢である花や水、星、ホタルなどについても学習し、自然環境の素晴らしさとともに、それらを守る活動をしている方々の存在に気づきます。

自分たちが育つ小林市の自慢を学んだ子どもたちが、将来、まちづくりの担い手として、誇りと愛着を持って活躍してくれることを願っています。



### ホタルの授業

栗須小 3年生



こすもす科の「小林おうえん団」という単元で、小林の自慢の一つ、ホタルについて学習しました。

講師は、市商工観光課の橋谷さんと西さんです。ホタルの一生やホタルが好む環境、ホタルを守る活動などを学習しながら、小林市の自然の豊かさを改めて知ることができました。

「ふるさと小林」を応援するために、自分たちができることを考えるきっかけにもなったことと思います。



講師の橋谷さん(右)と西さん



驚いたり感心したりしながら、ホタルの秘密を学習しました

### 校区内の史跡を学ぶ

三松小 6年生

市ガイドボランティア協会の皆さんの案内・説明で、「関ヶ原役記念碑」「西南戦争慰霊碑」「内侍塚」「飯田家五輪塔」などの校区内にある史跡について学習しました。

現地を訪れ、実際に見たり、撮影したりしながら史跡を肌で感じた後は、学級に帰り、写真で振り返りながら、各史跡の詳しい説明を聞きました。

日ごろ、何気なく目にしていた史跡の意味や意義について詳しく学んだ子どもたちは、これまで以上に地域に愛着を感じたことと思います。



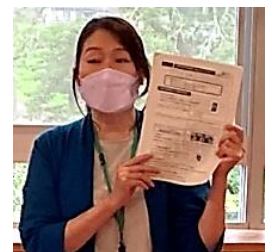
史跡の形や大きさなどを見学する子どもたち(飯田家五輪塔にて)

### 情報モラル講座

東方中

スマートフォン等の情報機器と正しくつきあうための学習です。

県消費生活センター都城支所の宮原さんを講師に、インターネットの特性、トラブルの事例、トラブルに巻き込まれないための心構えや対処法等について学習しました。



講師の宮原さん

多くがスマートフォンを所持しているためか、生徒たちは真剣な表情で取り組みながら、今後のネット(SNS)との接し方を考えていきました。



## 木に親しむ ～木工教室

幸ヶ丘小

夏休みの登校日の放課後子ども教室で、森林環境教育・木育の一環として、木工教室が開かれました。協力は、西諸地区森林組合です。

初めに「森と木のはたらき」や「林業について」などの学習をした後、家族も一緒に「腰かけ」作りに挑戦しました。

毎年行われているためか、子どもたちは、慣れた手つきで金づちを扱い、1時間ほどで木のぬくもり溢れる「腰かけ」を完成させました。

家族とともに取り組んだ木工教室。今年も夏休みの思い出のひとつになったことと思います。



家族とともに作った「腰かけ」は、最高の座り心地です

## 給食で地元農産物を応援

市内全小・中学校

新型コロナの影響で消費が落ち込んでいる地元農産物を学校給食で使用し、消費拡大や地産地消による食育の推進を図ろうと実施されました。主催は、市地産地消推進協議会です。

この日は、東方学校給食センター管轄の小・中学校11校が対象で、その中の小林小学校4年生の教室にお邪魔しました。

今回は、地元産のぶどう「ニューピオーネ」が提供され、その大粒な果肉と濃厚な甘さに子どもたちは大喜びでした。

この後も、ぶどうや梨、新米などの提供を行っていく予定だそうです。



これまでの「たより」は [KSSVC](#) で検索を

## 税の大切さを学ぶ

細野中 3年生

税の意義や役割について知り、公民的資質の基礎を身に付けることをねらいとした学習です。

講師は、税の専門家である市税務課の坂元さんと山村さんです。

税の無い架空の世の中を描いたアニメーションを視聴後、種類や納め方、使われ方など税金の仕組みについて詳しく学びました。

生徒たちは真剣に取り組みながら、国民の三大義務のひとつ「納税」について理解を深めました。



講師の坂元さん(左)と山村さん



## 心を豊かに ～読み聞かせ

紙屋中 1・2年生

読み聞かせグループ「たんぼぼ」の皆さんにより月に1回行われています。

この日は、メンバーの小田さんが来校され、「たまごさんがね・・・」「クモのいと」「アフリカの音」の3冊を読んでもいただきました。

また、本から離れて、安産と子育ての神「鬼子母神」のお話もしていただきました。

生徒たちは、朝の清々しい空気の中で、お話の世界を想像しながら、豊かな時間を過ごしました。



読み聞かせをやってみたい方は、市立図書館にお問い合わせください。学校に紹介するそうです。

※ 市立図書館の電話番号：0984-22-7913



令和4年度  
11月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

## 回覧

11月3日は「文化の日」です。

市内には、地域の文化として、棒踊りや兵児踊り、城攻め踊り、岩戸神楽など、多くの伝統芸能が継承されています。

豊臣秀吉の朝鮮出兵、島津と伊東の争い、神話など、その起源は様々ですが、それぞれに当時の人々の思いが込められているように感じます。

継承者不足に悩んだ地域もあったようですが、現在、いくつかの小・中学校では、子どもたちが、保存会の皆さんとともに、伝統芸能の継承に取り組んでいます。

今月号では、その様子もいくつか紹介いたします。

※ 市内各地域の郷土芸能は、小林市のホームページで紹介されています。

[小林市の郷土芸能](#)で検索すると、パソコンやスマホで見ることができます。

### 新地馬場棒踊り

野尻小 5・6年生

運動会での披露を目指して、東麓新地馬場（しんちばば）棒踊り保存会の皆さんの指導を受けながら、毎年、夏休み前から練習しています。

この日は、踊りの入場である「では」に新しく取り組みました。足の動きや掛け声、間隔のとり方などの丁寧なご指導により、勇壮できれいな入場ができるようになりました。

「地域の伝統を継承していきたい」という、子どもたちと保存会の皆さんの同じ思いがこもった練習となりました。



### 真方一区兵児踊り

小林小 4年生

島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために踊らせたのが起源と伝えられる兵児踊り。

毎年、4年生が、総合的な学習の時間に歴史や踊りを学習し、その成果を運動会で披露しています。

この日は、真方一区兵児踊り保存会の皆さんから、構えや手足の動きなどを丁寧に指導していただき、大きな動作で、メリハリのある踊りができるようになりました。



### 紙屋城攻め踊り

紙屋小 4・5・6年生

毎年、小・中合同運動会で披露する城攻め踊り。この日は、会場となる中学校で、衣装を着けての練習を行いました。

指導は紙屋城攻め踊り保存会の皆さんです。

衣装の着付けは、保護者の皆さんに協力していただきました。着付け後の練習は、雨天のために体育館で行いましたが、衣装や道具を着けた子どもたちの表情は凛々しく、踊りにも勇壮さが漂っていました。



## ネットトラブル予防のために

三松中 1年生

インターネットトラブルについて知り、ネットとの正しいつきあい方を考える授業です。

講師は、弁護士の牟田圭佑さんです。

ほとんどの生徒がネットを使った経験があるためか、「炎上」や「いじめ」などのトラブル事例についてのお話を真剣な表情で聞いていました。

牟田さんの「現実の世界でやっ  
てはいけないことは、ネット上でもやっ  
てはいけない」という言葉が心に響きました。



講師の牟田さん



## そばの種まき

細野小 4年生

総合的な学習の時間に、そばの栽培について調べています。この日は、細野営農組合とJAこばやしの皆さんに指導していただきながら、種まきを行いました。

袋に小分けされた種を受け取った後、3～4人組で蒔いていきましたが、子どもたちからは「実際に触れたそばの種は、想像とは違いました」という感想が多く聞かれました。

この後は、そばの花のスケッチ、収穫、そば打ちという流れで学習は進んでいきます。



## 防災学習 ～災害発生に備えて

須木中 1年生

市危機管理課から講師を迎え、防災について学習しました。

前半は、過去の災害や今後予想される災害等についてのお話を聞き、もしもの時には、正しい知識と判断力が必要であることを学びました。



危機管理課 山崎さん

後半は、避難所等で活用される段ボールベッドと屋内テントの組み立て体験を行いました。

講話や体験を通して、生徒たちは、防災には、正しい知識と日ごろの備えが大切であることを改めて実感していました。



段ボールベッドも屋内テントも、簡単に組み立てることができます

## スーパーマーケットの見学

須木小 3年生

社会科の授業で、スーパーマーケット「まちなか松栄」を見学しました。

子どもたちは、食材の生産地が書かれていることや、商品がコーナーごとに整然と並べられている様子に興味を示しながら、積極的に店内を見学しました。

最後に、もう一回りして、スーパーマーケットの工夫を5つずつ探した子どもたち。学校に帰って発表し合いながら、さらに学習を深めました。





令和4年度  
12月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC事務局 (Tel.22-7912)

## 回覧

12月22日は、二十四節季の一つ「冬至」です。翌日から昼が少しずつ長くなるため、なんとなくホッとする気持ちになります。

しかし、冬至は暦の上では冬の真ん中にあたるが、本格的な冬はこれから始まるという意味の「冬至冬中冬始め(とうじ ふゆなか ふゆはじめ)」ということわざもあるように、次第に寒さが厳しさを増し、冬の健康管理が大切な時期になります。

インフルエンザの流行も予想されていますので、手洗い、消毒、換気、マスクの活用はもちろん、健康三原則(食事、運動、休養)を意識するなど、コロナ禍で身に付けた予防する力を発揮し、元気で新しい年を迎えましょう。

良いお年を



### 学校に博物館がやってきた

東方小・須木小

県総合博物館の収蔵品を学校に展示する「どこでも博物館」が、東方小と須木小の合同で行われました。歴史や生物に興味を持たせることが目的で、こすもす支援学校の児童たちも参加しました。

会場となった東方小体育館には、約100点の収蔵品が5つのブースに分けて並べられ、「宮崎の縄文土器には貝殻で模様がつけられている」「毒キノコを見分けるのは専門家でも難しい」など、学芸員の方々が、分かりやすく解説してくれました。

どのブースでも熱心に聞く姿が見られ、会場は、子どもたちの好奇心で一杯でした。



恐竜の口と歯の形をじっくりと観察する子どもたち

### 福祉体験学習

野尻中 2年生

進行性の肢体型筋ジストロフィーという病気のため、車イスで生活をされている赤木一夫さんを講師にお迎えしました。

前半は、これまでの人生や思いについて話していただき、後半は、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツ「ポッチャ」を教えてくださいました。



講師の赤木さん

「勉強にスポーツに挑戦し続けてほしい」という赤木さんからのメッセージを受け取った生徒たちの表情には、元気と勇気が溢れていました。



ヨーロッパ生まれの「ポッチャ」はパラリンピックの正式種目です

### ものづくりの楽しさを味わう

永久津中

ものづくりのおもしろさ、大切さを伝え、人材育成につなげるための体験教室です。

全校生徒が「染色」か「切り絵づくり」のどちらかを選択し、ものづくりの世界を楽しみました。

講師は、県内で活躍されている染色技能士と広告美術技能士の皆さん。

どちらも細かな根気のいる作業が多かったのですが、技能士の方々から丁寧な指導を受けながら、個性あふれる作品を作り上げていきました。



染色(左)と切り絵づくり(右)に集中して取り組む生徒たち

## 「収穫の秋」 ～ 稲刈り編



### 野尻小 3年生

6月に植えたもち米の苗が大きく成長し、収穫の日を迎えました。協力してくださったのは、営農組合、JAこばやしの皆さんです。

コンバインでの刈り取りを見学した後に、鎌を使っての手刈りに挑戦しました。

初めはぎこちなかった刈り取りも、教えていただきながらスムーズにできるようになりました。

収穫したもち米は、今後予定されている餅つき大会で、おいしいお餅に生まれ変わります。



### 西小林小 5年生

6月の田植えから約4か月、いよいよ稲刈りの日を迎えました。協力は、JAこばやし青年部と保護者の皆さん、そして6年生です。

5年生にとっては初めての稲刈りですが、6年生のサポートもあり、無事に掛け干しまで行うことができました。

終了後は、「農家の方々の苦勞がよく分かりました」という感想が多く聞かれたそうです。



稲刈りから1週間後、今度は4年生とともに、足踏み式脱穀機を使っての脱穀体験を行いました。

収穫したもち米は、調理実習で使ったり、販売したりするそうです。



## 「収穫の秋」 ～ 芋ほり編



### 栗須小 2年生

5月に苗を植えたサツマイモの収穫を栗須保育園と合同で行いました。

営農組合、野尻原環境保全会、包括支援センターなど多くの皆さんが協力してくださいました。

さわやかな秋晴れの下、保育園児たちと力を合わせて掘ったサツマイモ。収穫量は全部で564kgだったそうです。

収穫したイモは、小学校、保育園、包括支援センターで分けて、持ち帰りました。



園児たちもたくさんのサツマイモを掘りました



### 紙屋小 1・2年生

5月に学校の「わくわく農園」に植えられ、約5か月間大切に育てられたサツマイモの収穫です。JAこばやし青年部野尻支部の皆さんに、早朝から協力していただきました。

朝のさわやかな空気の中、子どもたちは、大きなイモが出てくるたびに歓声をあげながら、収穫の秋を楽しみました。

収穫したイモは、全校児童で分けて家庭に持ち帰るとともに、地域にもおすそ分けされるそうです。





令和4年度  
1月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

回覧

## 明けまして おめでとうございます

令和5年の干支は「癸卯(みずのと・う)」です。

「癸」は次の新たな生命が成長し始めている状態を意味し、「卯」はうさぎのように跳ね上がるという意味があるそうです。

二つの組み合わせから、令和5年は「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年」になりそうです。

KSSVC だよりでは、今年も、さらなる飛躍に向けて、学び、努力する小林市の子どもたちの姿をお届けしますので、どうぞ、よろしくお祈りします。



## 伝統芸能の継承 ～岩戸神楽

三松中 2年生

毎年、地域の伝統芸能である「岩戸神楽」の継承に取り組み、その成果を学校の文化発表会で披露しています。

この日は、岩戸神楽保存会の皆さんと、宮崎市で篠笛(しのぶえ)の製作等をされている木浦さん、郡さんの指導を受けながら、舞や太鼓、笛の練習はもちろん、背景や彫り物(えりもの)の作成に、真剣な表情で取り組んでいました。



発表会当日(下の写真)は、2年生全員で作り上げた「岩戸神楽」に大きな拍手が送られました。



## サツマイモの収穫

西小林中 2年生

技術・家庭科(技術分野)の学習でサツマイモの栽培に取り組んでいます。5月に植えた苗が大きく成長し、収穫の日を迎えました。支援してくださったのは木村農園の木村さんです。

抜けるような青空のもと、生徒たちはサツマイモの成長を確認しながら、協力して収穫に取り組みました。

収穫したサツマイモは、家庭分野の調理実習で、食材として使われています。



## 卒業式、入学式を花でお祝い

幸ヶ丘小

卒業式と入学式で会場に飾る花の苗を一人二鉢ずつ植えました。

種類は「ビオラ」と「ペチュニア」で、準備や植え方の指導をしていただいたのは学校用務員の宇都さんと坂元さんです。

子どもたちは、ボラ土、土の順で入れた鉢に、丁寧に花の苗を植えた後、日当たりのよい体育館の横に並べて水やりまで行いました。

卒業生、新入生をきれいな花でお祝いするために、全員でお世話をしていきます。



## 味覚の授業

小林小 5年生

味に敏感な時期の子どもたちに、味覚を意識させ、食の楽しみを学んでもらう授業です。

味の基本となる「塩味」「酸味」「苦味」「甘味」「うま味」の五味について、フレンチレストラン「ここやっど小林」の地井シェフから、体験を通して教えていただきました。

子どもたちは、それぞれの味やミックスした味を匂ったり、味見をしたりしながら、味の奥深さ、味わうことの楽しさに触れることができました。



地井シェフ



酢(酸味)を味見すると…

### 【地井シェフの話から】

- 腐ったものは「酸っぱい」味、毒は「苦い」味です。味に敏感な3～6年生の時期に「酸っぱい」「苦い」食品が苦手な子どもが多いのは、身を守るため。
- 五味のバランスのとれた食事は、健康に良い。そのことを意識して、味を楽しみながら食べてほしい。

## 消防署の働きを学ぶ

永久津小 3年生

社会科の学習として、火災や事故が発生した時に私たちの生命や財産を守ってくれる消防署を見学しました。

消防車や救急車の役割や装備、通報を最初に受ける指令室の働きについて、消防士の皆さんが丁寧に説明してくださいました。



見学を通して、私たちの暮らしを守るために、日々訓練や仕事に励んでおられる消防士さんたちの姿を知ることができました。



指令室で119番の通報体験

## 祭りの前に清掃ボランティア

紙屋中 1・3年生

「ほぜ祭り」の前に、地域の高妻神社の清掃を行う恒例のボランティア活動です。2年生は職場体験学習中のために、1・3年生で行いました。

境内の落ち葉の除去や拝殿、社務所、トイレのふき掃除など、生徒たちはてきぱきと活動し、地域を見守ってくれている神社は1時間ほどですっきりきれいになりました。

宮司の吉村さんから「例大祭の前にきれいにしてもらい、毎年助かっています。」という言葉をかけていただいた後、全員で参拝して活動を終わりました。



## ドイツのクリスマス

西小林小 3年生

市の国際交流員でドイツ出身のトニーさんから「ドイツのクリスマス」について、クイズ形式で紹介していただきました。

子どもたちは、食べ物、習慣、飾り、音楽、宗教の5つのジャンルから問題を選び、チームで話し合いながら1問ずつ答えていきました。

問題ごとにトニーさんから解説をしていただき、ドイツと日本の文化の違いを楽しく学ぶことができました。



問題が出されると、話し合いながら答を出していきます



正解したチームからは歓声があがり、大盛り上がりでした





令和4年度  
2月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

回 覧

旧暦の2月は「如月（きさらぎ）」と呼ぶのが一般的ですが、「木の芽月（このめづき）」「初花月（はつはなつき）」「雪消月（ゆききえつき）」「梅見月（うめみづき）」など、春が感じられる異称も多くあります。

旧暦2月は、今の暦の3月ごろにあたり、次第に温かく、春らしくなる時期ですから、昔の人々は、喜びを込めてこのように呼んでいたのでしょう。

現代の2月は、春の兆しが見え始めるものの、まだまだ寒さが厳しい時期です。

健康に留意しながら、もう少し先の本格的な春を楽しみに待ちましょう。



## 和服の着付けに挑戦

須木中 2・3年生

技術・家庭科（家庭分野）の和服についての学習を深めるために、日章学園高校の阿辺山先生を講師にお迎えしました。

和服の種類や洋服との違いなどの基本的なことを学習した後は、浴衣の着付けに挑戦。

和服を着る機会はほとんどないために苦勞はしましたが、先生のアドバイスにより、全員がきれいに着ることができました。

着付け体験をすることで、和服文化への関心が高まったことと思います。



## 食育講演会 ～「弁当の日」に向けて

東方中

お弁当を自分でつくる「弁当の日」に向けて、フレンチレストラン「ここやっど小林」の地井シェフから「味覚を生かした弁当づくり」と題したお話をさせていただきました。

シェフからは、味の基本である五味（塩味、甘味、酸味、うま味、苦味）をバランスよく取り入れること、味は足し算することで広がりをもつことなど、料理を豊かにする秘訣を教えてくださいました。

この日に学んだことを生かして作った弁当は、一味違ったものになったことと思います。



味見をしながら献立のイメージを膨らませていきました

## プロゴルファー脇元 華さんが講演

細野小・中

細野小・中出身でプロゴルファーの脇元 華さんが、細野小6年生と細野中全生徒に「夢」についてのお話をしてくださいました。

「夢がある人は、夢から逆算して日付を入れてみると、今やるべきことが見えてきます。」「努力を努力と思わずに続けると、『歯磨き』みたいに習慣になり、それが人格を作ってくれます。」などの具体的なお話は、まだまだ将来のことが漠然としている小・中学生にとって、先輩からの心のこもった大きなプレゼントとなりました。



脇元 華さん



## 冬のおはなし会

三松小

読み聞かせサークル「わたぐも絵本の会」の皆さんによる冬のおはなし会が、3年ぶりに開催されました。

昼休みに、自由参加で行いましたが、多くの子どもたちが会場の体育館に集まってくれました。

スクリーンを使った読み聞かせや人形劇、歌などの盛りだくさんな内容に、子どもたちは大喜び。

会場は、寒さを吹き飛ばすほどの熱気でいっぱいでした。



## 校区内の文化財巡り

東方小 6年生

総合的な学習の時間に校区内の文化財巡りを行いました。案内と説明は社会教育課文化財担当の井上さんです。

池の上里程標や新田場の田の神、東方大丸太鼓橋など、地域の文化財を実際に見ながら、昔の人の思いや知恵を感じることができました。

最後は国指定の天然記念物「オオヨドカワゴロモ」が自生する谷ノ木川も訪れ、東方の自然の豊かさにも触れることができました。



県内最古の水路橋「東方大丸太鼓橋」は県指定有形文化財江戸時代終り、薩摩の豪商 森山新蔵が私費で造りました

## 火災から命を守るために ~避難訓練

野尻中

火災発生時の避難経路や避難の留意点を知り、素早く、安全な行動を身に付けるための訓練です。

「火災発生！」の放送で、安全に留意しながら迅速に行動し、2分45秒ほどで全員が運動場へ避難することができました。

その後、野尻分遣所の方々のご指導で、消火器の操作体験や煙の怖さを知るための濃煙体験を行いました。生徒たちは、真剣に取り組みながら、火災から命を守る行動を学ぶことができました。



消火器を使う時は「ホッピング」と覚えておくとよいそうです  
①ホースを火元へ向け ②ピンを抜き ③グッとレバーを握る

## しめ縄づくりで世代間交流

紙屋中 1年生

総合的な学習の時間に、お正月用のしめ縄を作りながら、楽しく世代間交流を行いました。

一緒に活動してくださったのは、紙屋校区社会福祉協議会の皆さんです。

縄をなう経験のない生徒たちは、大変苦勞していましたが、優しいサポートにより、全員が立派なしめ縄を完成させることができました。

心を込めて作ったしめ縄で迎えた令和五年は、明るく健康な年になることでしょう。





令和4年度  
3月号

# KSSVCだより

Kobayashi School Support Volunteer Center

小林市教育委員会 社会教育課 KSSVC 事務局 (Tel.22-7912)

回 覧

石(いわ)走る 垂水(たるみ)の上の  
さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも  
志貴皇子(「万葉集」第八巻)  
石の面をはげしく流れ落ちる滝のほとりにわらびが  
芽を出している。いよいよ春になったのだなあ。

昼の時間が最も短かった冬至から3か月。  
3月21日の春分の日には昼と夜がほぼ同じ長さ  
となります。いよいよ春本番を迎え、太陽の  
エネルギーや自然の生命力を改めて感じる時  
期となってきました。

3月はお別れの場面が多く、寂しいイメージ  
はありますが、次のステージへの期待が膨らむ  
時期でもあります。

地域等の方々の支援も受けながら、学び、  
成長してきた小林市の子どもたち。

4月からの活躍のために、心や  
体にエネルギーをいっぱい充填  
する3月にしてほしいと思います。



## 地域を花いっぱい

三松中 1年生

ホームセンターやまさきの北側歩道沿いの花壇  
を花いっぱいにする活動です。小林土木事務所と  
学校とが協定を結び、平成22年から行われてい  
ます。

造園組合の皆さんからアドバイスを受けながら  
植えたのは、パンジー、ビオラ、ポピーです。寒さ  
に強く、春過ぎまで見ごろが続きます。

生徒たちが心を込めて植えた色とりどりの花た  
ちが、近くを通る地域の方々や運転手さんたちの  
目や心を和ませてくれています。



花の種類や色を考えながら、丁寧に植えていきました

## オンラインで台湾の小学生と交流

南小 6年生

外国語科の学習の一環で、台湾の萬富小学校の  
6年生と、オンラインでの交流学习を行いました。

南小の子どもたちが、英語で小林市の自慢を紹  
介した後は、萬富小の子どもたちが、間もなく迎  
える旧正月(春節)にちなんだ習慣や絵などを紹介  
してくれました。

外国の子どもたちとのコミュニケーションを楽  
しむよい体験となりました。



南小は生駒高原のコスモスや日本一の牛肉などを紹介



萬富小からは正月用飾りや新年にちなんだ絵が紹介されました

## 火災を想定しての避難訓練

須木小

火災発生時の避難の留意点や避難経路を確認す  
ることで、非常時に素早く、安全に行動できるよ  
うになるための訓練です。

この日は、雨天のため体育館が避難場所とな  
りましたが、「理科室で火災発生!」の放送で、子  
どもたちは、鼻と口をハンカチで覆いながら、迅速  
に避難することができました。

担当の先生と校長先生の話の後は、教室で避難  
の仕方や消火器の使い方の動画を見ながら振り返  
りを行い、訓練の大切さを改めて確認しました。



## 介護の魅力を体験

細野中 1年生

県長寿介護課の「介護の魅力発信事業」が秀峰高校で行われ、福祉科2年生が細野中1年生に介護の魅力を伝えてくれました。

高校生が先生となって「介護や福祉についての説明」、「高齢者疑似体験」、「福祉用具体験」の3つのプログラムが行われましたが、中学生たちは、高校生が自信と誇りをもって活動する姿を見ながら、介護の仕事の大切さ、やりがいを感じることができたことと思います。



高齢者疑似体験用の装具を着けての「杖歩行」では、高校生の的確で優しい介助を感じることができました

## 給食感謝集会

野尻小

本来は、全校児童が集まり、給食に関わる方々に直接感謝の気持ちを伝えるのですが、新型コロナ感染予防のため、学校栄養職員の八重尾先生お一人をお招きし、Zoomを使ったりリモートでの会となりました。

保健・給食委員会の進行で、関係の方々への感謝の寄せ書きや八重尾先生のお話、紙芝居などを各学級に配信しましたが、食の大切さや学校給食の意義、給食に携わる方々への感謝の気持ちを全校児童で共有することができました。



各学年の寄せ書きを紹介



6年生は直接、八重尾先生へ



八重尾先生のお話は「給食ができるまで」



## 薬物乱用防止教室

紙屋小 6年生

学校薬剤師の鳥浜さんをゲストティーチャーにお迎えし、酒、たばこ、違法薬物の体や心への影響について学習しました。

スライドを使っでの説明を聞きながら、薬物を乱用すると、自分の意志ではなかなかやめられないこと、生活に悪影響を及ぼすこと、重大な犯罪に繋がる場合があることなどを理解しました。

そして、どんなに勧められてもきっぱりと断る勇気の大切さも確認しました。



学校薬剤師の鳥浜さん



特に押さえておきたい点は、担任の先生とともに確認しました

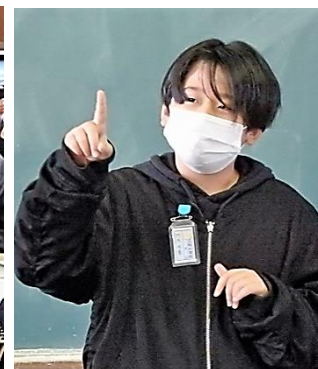
## 手話で気持ちを伝える

三松小 5年生

こすもす科の「手話にふれよう」の学習です。ねらいは、手話に関心をもち、簡単な手話で気持ちを表現すること。講師にお招きしたのは、手話通訳者派遣協会の皆さんです。

耳の聞こえない人の生活や伝え合う方法などについて学習した後は、簡単な手話や指文字を使っでの自己紹介に挑戦しました。

子どもたちは、積極的に、楽しく手話に触れながら、手話に対する関心を高めることができました。



小林市では、小学校3年生・5年生、中学校3年生が「こすもす科」の授業で手話について学んでいます。